

## 令和4年度 第2回 平塚市博物館協議会会議録

■ 開催日時 令和4年11月18日（金） 10時～11時30分

■ 開催場所 平塚市博物館 科学教室

### ■ 会議出席者（敬称略）

会長 植田 育男

副会長 藤吉 敬子

委員 小倉 俊宏、昆 政明、今野 博

事務局 浜野館長、杉山館長代理（管理担当長）、川端館長代理（学芸担当長）

■ 傍聴者 0名

### ■ 会議の概要

1 開 会 浜野館長挨拶

2 議 事

（1） 報告事項等について

- ・ 令和4年度夏期特別展について
- ・ 情報発信（ホームページと YouTube・SNS）について

（2） 今後の事業計画等について

（3） その他

- ・ 「博物館のあり方」についての市民アンケートの実施について
- ・ 事務連絡等

3 閉 会

\*閉会后、秋期特別展の展示解説

### ■ 議事および質疑

#### 議題（1）報告事項等について

◆令和4年度夏期特別展の開催報告について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委員 「鳥さがシート」は子どもたちがすごく食いつくと思う。小学校に広くPRできれば、もっとやりたがるのではないか。素晴らしいと思う。

事務局 お子さんたちから「難しいけど楽しかった」という感想があり、喜んでもらえて良かった。担当学芸員のアイデアが非常に良かった。学校現場でも使えればよいと思うが、学校は標本などを持っているのか。

委員 多少はあるが、子どもたちが興味を持てる質のものではない。「鳥さがシート」を活用した学習が新たに計画できるならば各学校に情報として知らせたい。

事務局 担当学芸員と相談してみる。

委員長 剥製とシートを結びつけるのではなく、校庭に来る鳥と結び付けて観察させる。その日に見つけた鳥をシートの中に書き込むという活用の仕方もあるのではないか。昼休みとか朝夕の行き帰りの時間に校庭で鳥の鳴き声がしていたら、見てシートで確認するとか、「今日、こんな鳥

見つけた」と子どもたちで話し合わせるとか、そういうのにも使えるのではないか。

事務局 「野鳥はなかなか近づけないからじっくり見るのが難しい」と担当学芸員は言っていた。

委員長 逆に、じっくり見ようとする態度が養われるのではないか。じっくり見ないとわからないのだったら、子どもたちは一生懸命見ると思う。探そうと思えば、声のする方向を一生懸命見ると思う。

委員 非常に素晴らしい企画だし野鳥の写真も素晴らしい。博物館の職員だけでは企画できない特別展だった。今の件に関して、シートと鳥の写真、あるいはバードカーミングの写真でも構わないが、それをカードにして何十枚かのセットを作って合わせていく、カード遊びのような材料にも使えるのではないか。実物を見ながら使うのは難しいと思うが、写真であれば横から見た特色と正面から見た特色を頭の中で組み合わせて、同じ種類のカードを合わせる遊びができるのではないか。

委員 あれだけの写真の数は圧巻だった。平塚の野鳥を一堂に見られるのはとても良かった。大盛況だったと思う。カードの話だが、美術館は絵葉書を売っているが、博物館は冊子しか売っていない。以前、博物館で雛人形展をやったときに、ある女性が「お雛様の絵葉書が売っていると良いな」と話をされた。著作権などの問題があるかもしれないが、今回のアンケートの中にも「販売すると良い」という声があったので、冊子の他に特別展の記念になるような絵葉書やカードを販売してくれると、よりあとに残ると思うので、いずれ実現できると良い。

委員 小学生は一人一台タブレット端末を持っている。例えば、博物館のサイトに写真や説明や動画が載っていて、子どもたちがアクセスすれば見られる。SNS 上で「この野鳥を探せ」みたいなことをすると、ポケモンじゃないが、子どもたちは「もっとカードを作って」と言うのではないか。

事務局 図録に関しては電子書籍化を検討していたが、予算の都合もありできなかった。また、小中学生は GIGA スクールでタブレットを持っているので、そこに載せられないかと教育研究所へ相談したが、フリーにアクセスするものはできないということで断念した。

委員 図録のイラストのデザインは職員が作ったのか。

事務局 担当学芸員がぜんぶ作った。

委員長 イラストの鳥は何種類あるのか。

事務局 デザインしたものは 60 種類ぐらい用意した。そのうち「鳥さがシート」に 32 種使った。

委員 ポスターのセンスが良かった。今までのポスターと感じが違うのでプロの方に頼まれたかと思ったが、担当学芸員がつくられたと聞いてびっくりした。さすがだなと思った。「鳥さがシート」が 4 種類ずつになっていたのは、たぶんお子さんが飽きないようにというのと、繰り返し来て何回もできるようにという配慮で、素晴らしいと思った。写真を撮影された岡根さんが実際に展示室にいて説明してくれた。博物館で展示をつくった方や関係者と会えるのはとても嬉しいことだ。「来られる日はずっと来ています」とおっしゃっていた。写真の下に岡根さんの一言解説がいくつか付けてあって、コメントが非常に温かかった。わかりやすい言葉で、鳥に対する配慮や優しい気持ち、エチケットとかが、美しい写真と一緒に学べる、気持ちも一緒に

入ってくる展示だった。解説も素晴らしかった。自然関係が好きで、鳥もだいたいわかると思っていたが、鳥を正面から見ることはほとんどないことなので、カードを見てすぐにわかるものが少なかったことにショックを受けた。小さなヒントから剥製を見て探していくという作業はおもしろくて、お子さんも夢中になっていたと思うが、大人の人も「難しい」と言いながら長い時間をかけて一生懸命剥製を見ていた。たくさん剥製を持っていて、それを展示できるのは博物館ならではの強みで、さらに、出したものをちゃんと見てもらうことにしっかりつながっているこのシートの構想が素晴らしかった。

委員長 アンケートの内容を拝見すると、「鳴き声についても教えていただければ良かった」とか「フリガナがあると子どもが読みやすかった」という指摘もあるので考えてほしい。「次もやってください」とか「常設にしても良いのではないですか」という積極的な意見もあったので、次も検討すると良い。

#### ◆情報発信（ホームページと YouTube・SNS）の取り組みについて事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委員 対象を大人にも想定していると思うが、子ども向けにやさしく、時間としても小学生は見ても5分くらいが良いが、そういうものができれば、各学校に知らせておく。タブレット端末の活かし方としてまだ難しいところもあるので、たとえば博物館で「子ども平塚博物館」を作り、そのプログラムが事前に各学校に渡されていて、博物館の催し物などを見せれば、子どもの方から保護者へ「連れてってよ」と言うと思う。

事務局 「5分でわかる平塚学入門」は、中学生レベルでわかる内容で制作しているので、小学生だと少し難しい部分があるかもしれないが、わからない部分を疑問に持ってもらうのも一つの考え方である。学校の先生から授業に何か使いたいという問い合わせをいただくことがあるが、先生方の希望の中に、「5分でわかる……」のテーマに関連するものがけっこうあるので、まず「5分でわかる……」を使っていただくのが良いとご案内している。

委員 先日、大宮の鉄道博物館に行った。以前は専門的な分野が多かったと思うが、今回行ったら、幼児が楽しめるような体験プログラムやアトラクションがすごく増えている。そこまでは言わないが、これだったらお金をたくさんかけなくても、小学生は食い入るように見るのではないかな。低学年からそういうものに触れるのはすごく大切で、それによって高学年になってもっと博物館に行ってみたいとか、理科的や社会的な分野に関心を持つとか、そういうきっかけになる。それが YouTube で端末を通して体験できるなら、博物館の PR にもなると思う。

事務局 コロナで休館や休校になっていた時期に、博物館のホームページでお子さん向けのプログラムを12本用意し、見られるようになっている。先生から問い合わせがあった時にはご案内している。

委員 そういうものがあるならば、PRの部分で相談していただくと良い。学校でもPRしたい。

館長 PRの方法として、定例校長会で博物館のイベントを報告する機会はあまりなかったが、子ども向けプログラムのような場合は校長会で周知するのは有効か。

委員 今の子どもたちは SNS の世代なので、視覚に訴えないといけない。伝え方が書面だったり難しいと思うと、学校にいただいてもなかなか広まらない。博物館の催しを 1 枚のチラシでいいので学校に配ることになれば、子どもたちの反応は想像がつく。ぜひ校長会でもお話しいただきたい。

館長 子どもへのホームページ等の情報発信と学校のタブレットを使った授業の活用ということで、「鳥さがシート」みたいなイラストを使った特別展の PR を兼ねて学習効果の上がるものの提供というのと、子ども向けのページを用意して、「おうちで楽しむはくぶつかん」はあるが、各分野が大人向けではなくて小学生でも楽しんでもらえるようなプログラムを充実させていき、授業でも活用できるようにしていく、その二通りをご指摘いただいたと思う。

委員長 11 月から公開される「博物館モノ語り」の内容は。

事務局 博物館の資料から一つを取り上げて、深掘りして紹介する動画という企画である。展示室に出ている出ていないは関係なく一点を取り上げようということで、1 回目は天文担当がプラネタリウムの投影機を取り上げて紹介している。

---

## 議題（2）今後の事業計画等について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明

委員長 来月から新年にかけての休館について、いろいろなところへ知らせを出すのか。

事務局 ホームページと「あなたと博物館」へ記事を出している。広報からも休館のアナウンスをする予定である。

---

## 議題（3）その他について

◆「博物館のあり方」についての市民アンケートの実施について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

館長 補足すると、庁内に公共施設等個別施設計画があり、その計画に則ってそれぞれの施設の改修が予定されている。改修を行うにあたり、事前に市民のニーズを踏まえて将来の博物館のあり方構想をまとめることとなっており、そのための基礎調査である。昨年度館内で同様のアンケートを実施し、引き続き、ふだん博物館を利用しない層も含めるために無作為抽出のアンケートを取り、その結果を集計して、博物館の将来のあり方というものをあくまで内部資料としてまとめる予定である。今後も引き続きいろいろな形で市民の声を聴きながら、新しい常設展示の計画や施設改修に向けた考え方、バリアフリーやユニバーサル化も課題として挙がってくるので、来年度再来年度と検討の比重が大きくなっていくと思う。そうした構想のもとに行う市民アンケートである。

委員長 将来を見据え、新たな博物館に向けて、アンケートを一つの資料にするということだが、それに関して委員会を立ち上げる動きはあるか。

館長 大規模改修の場合は、既存の常設展示をすべて撤去して、新しく作り直さなければいけない可能性もある。その場合には展示の構想も含めていろいろな先生方から意見をいただきたいので委員会を立ち上げる必要があると思う。

- 委員 あくまでも建物はそのまま、改修する方向で進んでいるのか。
- 館長 建物がどの程度補強が必要なのかをしっかりと調査してみないと、実際のところはつかめない。まず劣化度調査を実施してどの程度の金額で改修が可能なのか、耐震が難しいということになれば、その時点で検討し、ある程度方向性が決まると思う。現段階では建物はそのまま維持し、中を作り変えてなるべく長寿命化を図る方向で動いている。
- 委員 耐震基準に合わせると新築する方がむしろ安く上がるようなこともあり、それが原因になって博物館自体の存続が危うくなるのが県立クラスでも出てきている。ちょうどこの建物ができた頃が耐震基準のボーダーラインの時期ではないかと思うので、耐震調査の結果が心配である。平塚市博物館は市民の人の力で立ち上げた博物館というイメージがある。市民の声をできるだけ吸い上げてこれからの博物館をつくると考えるのであれば、こういうアンケートを頻繁に行って、市民の声を前面に押し出すと進むのではないかと。48年経った現在も研究会や市民活動が下降線をたどることなく前向きな状態でずっと続いている博物館は全国的に見ても少ない例だと思うので大切にしてほしい。
- 館長 利用者の博物館へのニーズを踏まえて、「博物館はだから必要なんだよ」と訴えていくために、いろいろな市民の声を集めていきたい。アンケートのテーマをもっと絞って、例えば学校関係者だけを集めて、学校にとって博物館にこれからもっと期待したい機能とか、いろいろな声が上がると思うので、アンケートだけではなく実際に関係の方に集まっただきフリートークのような形で意見を出し合っただけとか、若い世代の人たちにとってどういう博物館であってほしいのかといった声を直接聴く機会も、今後もう少しプランが具体化してからになるが、取り組んでいかなければならないと考えている。
- 委員 野鳥の特別展を開いてこれだけお客さんが入る館は無い。閑古鳥が鳴くのがふつうである。日頃の活動が無ければこういう特別展をやっても人は入らない。すごいなというのが正直な感想である。
- 委員長 アンケートは12月20日までということだが、その結果を協議会で伺ってから、あらためて意見をお聞きしたい。

閉会后、秋期特別展を塚田学芸員と福田学芸員の案内で見学した。

◆次回の協議会は令和5年3月23日（木）に開催することとした。

配 布 資 料

## 令和4年度 第2回平塚市博物館協議会 次第

令和4年11月18日（金）午前10時  
平塚市博物館科学教室

### 1 開会

### 2 議事

- (1) 報告事項等について
  - ・令和4年度夏期特別展について
  - ・情報発信（ホームページとYouTube・SNS）について
- (2) 今後の事業計画等について
- (3) その他
  - ・「博物館のあり方」についての市民アンケートの実施について
  - ・事務連絡等

### 3 閉会

\*閉会后、秋期特別展の展示をご案内いたします。

以 上



# 令和4(2022)年度夏期特別展「野鳥愛」

## 開催報告

会 期 2022(令和4)年7月21日(木)～9月4日(日) (開催期間:40日)  
休館日:月曜日

主 旨 平塚は、県内でもトップクラスに多くの種類の野鳥が観察される場所として知られているが、残念ながら、現在野鳥は市民にとって必ずしも身近な存在とはいえない。一方、野鳥への関心は高く、鳥について知りたいという要望は多い。

この展示では多くの剥製や写真、バードカービング作品をきっかけに、市内に多様な野鳥が生息することを知ってもらうことで、鳥について知ってもらうとともに、平塚の自然への関心を深めることを目的とした。平塚を中心に長年野鳥観察を続けている市民グループ「こまたん」の活動を紹介することで、鳥や自然との適切な距離感を知ってもらい、写真やバードカービングといった作品に注目されがちなものが、深い野鳥への愛と観察に基づいていることを紹介した。さらに、今からおよそ90年前の平塚での鳥にまつわるエピソードを紹介することで、今と昔の環境の違いについて想起してもらうとともに、身近な自然に対する愛情を喚起するよう展示した。

展 示 構 成 平塚の野鳥写真展／ずらっとりーはく製大集合ー／こまたんと生物多様性調査／遠藤勇のバードカービング／作家・中勘助と平塚の鳥

入 館 者	入館者数			開館 日数	こどもの 割合	平均入館 者数/1日
	大人	子ども	合計			
7月	1,760	920	2,680	10	34.3%	268
8月	4,931	2,175	7,106	26	30.6%	273
9月	726	187	913	4	20.5%	228
期間計	7,417	3,282	10,699	40	30.7%	267

( 参 考 )	R3 春	5,346	1,775	7,121	44	24.9%	162
	R3 秋	6,906	2,877	9,783	64	29.4%	153
	R3 夏	5,724	2,396	8,120	45	29.5%	180

関 連 行 事 子ども展示解説「はくぶつかんで鳥を見よう」  
開催日:①7月21日(木) 参加:大人5名、子ども10名(応募15名)  
②7月23日(土) 参加:大人7名、子ども9名(応募20名)  
体験学習「とりの手羽先骨格標本を作ろう」  
開催日:7月27日(水) 参加:大人10名、子ども18名  
特別展示解説  
講師:岡根武彦 開催日:8月6日(土)  
参加:大人13名、子ども1名(応募14名)  
記念講演会「野鳥とともに40年ーこまたん流野鳥との付き合い方」  
講師:こまたん 開催日:8月21日(日)  
参加:大人44名、子ども5名(応募70名)

特別講座「鳥の羽根の魅力」

講師：藤井幹(日本鳥類保護連盟) 開催日：8月27日(土)

参加：大人46名、子ども6名(応募56名)

印刷物

図録「野鳥愛」

A4判 80頁 カラー 1000部 頒布価格 ¥500

開催期間内頒布部数：292部

(参考) R3夏：278部、R3秋：571部、R3春202部

ポスター B3判 カラー 400部

リーフレット A4判 カラー 5000部

ワークシート「とり探し」と A6判 8種類 カラー 3000部

「しづかな流」リーフレット(2種) A5判 4ページ 白黒 600部

アンケートの結果

回収枚数 100枚

回答者の住所 平塚市内60名、平塚市外神奈川県内22名、神奈川県外5名  
(n=87)

回答者性別 男18名、女26名、  
(n=44)

回答者年齢 (n=97)	～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	18名	8名	7名	19名	14名	10名	21名

情報の入手先 広報ひらつか 18名、博物館のホームページ 8名、あなたと博物館 6名、  
(複数回答可) SNS 3名、新聞等 9名、ポスター 19名、口コミ 4名、その他 44名  
(n=98)

おもしろさ 興味ぶかさ (n=99)	とても おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや つまらない	つまらない
	85名	12名	2名	0名	0名
	85.9%	12.1%	2%	0.0%	0.0%

難し しさ (n=99)	とても よくわかる	まあ わかる	ふつう	やや むずかしい	とても むずかしい
	76名	17名	4名	1名	1名
	76.8%	17.2%	4%	1%	1%

総合評価 (n=128)	とても良い	まあ良い	ふつう	もう少し	良くない
	85名	11名	2名	0名	1名
	85.9%	11.1%	2%	0%	1%

ご意見・ご感想 (一部抜粋)

・展示が多く、見やすく配列されていていつもどおりすばらしいです。解説も大人にも子どもにもわかりやすくとても良いです。いつもありがとうございます。(50代)

- ・120羽のハクセイの鳥は圧倒された。(80代)
- ・鳥のことをよく知らない私でも楽しめました。またぜひおねがいします。(中学生・女)
- ・いろいろはなしながら学校で習ったことをふりかえることもできて中学校(中1)のふくしゅうになりました。(中学生・女)
- ・普段はあまり関心のない分野の展示で興味深く拝見しました。夏休みで子供たちに喜んで貰える内容だと思います。(40代・男)
- ・ふだん見かけてもじっくり見れないのであらためて大きさやこまかい部分もゆっくり見ることができよかったです。展示としてはむずかしいとおもいますが、なき声についてもおしえていただけるとよりよかったです。可能であれば、HPなどのしょうかいでもいいかと思います。ありがとうございました。(50代・男)
- ・平塚は地方都市として全国的に知名度が高く、都会に準じたイメージをもっていました。多くの野鳥が見られる自然豊かな側面ももつことを知ることができました。掲示物や説明文は、子供むけに平易な文で書かれていてよかったです。フリガナもあるとより多くの子供も読むことができたと思います。(30代・男)
- ・ぎっしりと充実している展示物に見応えがあって良かったです。きっと展示しきれない物がたくさんあるのではと思います。また続きをお願いします。チラシが可愛いくて好きです。(50代)
- ・鳥さがシートのクオリティがとても高い！！と大感動しました。ぜひハガキにして販売していただきたいです。(60代・女)
- ・野鳥の観察に興味があり伺いました。観察する上で留意すべきこと、鳥の暮らしを守るために人間ができることを知ることができ、とても有意義でした。貴重な資料を多く集めて開催くださいましてありがとうございました。(40代・女)
- ・アオサギ、カラスは良く勤務地にいるのでわかりやすかったです。(40代)
- ・仕事先で山からメジロが飛んできてかわいかったです。(40代)
- ・分かりやすくて勉強になりました。係の方が分かりやすく説明をして下さりよかったです。(8/6)クイズの鳥さがシートは色々なとりがいてむずかしかったです。楽しかったです！たのしかったです。(40代・女)
- ・野鳥に興味があったので見に来ました。見たことのない種類の鳥が市内にいると知り、もっと目をこらして日々生活してみようと思いました！(30代)
- ・よく観察してみると科ごとにくちばしの形が違ったりして発見があって面白かった。(専門学校・大学生)
- ・たくさん剥製があったので実際の大きさがわかりやすかった。岡根さんの写真も素晴らしく、楽しめました。カービングはかわいいグッズになっていたら…とか、家に飾りたかったです。家の近くにもたくさん野鳥がいるので自然を大事に守りたいと感じました。(40代)
- ・たまたまプラネタリウムの帰りに寄らせていただきましたが、子どもが「このかおだれのかお？」をととても楽しんで気がつけば1時間ほどじっくりと見させていただきました。ふだん野鳥の顔をじっくり見たことがなかったのでとても楽しかったです。ありがとうございました。(40代・女)
- ・子ども達が夢中になって鳥の名前クイズをしていました。とても良い事だと思いました。夏休みのいい経験です！鳥について親切、ていねいにご説明してくださりありがとうございました。(50代・女)
- ・野鳥が好きになりました！ヤマセミの頭の爆発が面白い！(20代・男)
- ・とりがすきなので見にきました。(小2・女)
- ・三脚を使わずに鳥たちを撮る、話しかけながら撮る、これって「動物写真家」の岩合さんと同じ考えですね。お二人の顔は似ていなくても、雰囲気はどこことなく似ていますね。(70代・女)

・鳥の模型がリアルでとてもかわいかったです。観察した野鳥の表も分かりやすかったし、それだけの野鳥を観察しているのもすごいと思います。カルガモの親子の写真が印象にのこりました。私もカルガモの親子を見たことがあるけれど、その1回だけなのに、あんなに可愛くてフワフワのヒナを撮れるのはすごいと思いました。平塚に野鳥が多いのは知っていたけれど、私の知らない野鳥の方が多くて、驚きました。岡根さんの撮った写真で偽傷がすごいと思いました。私も偽傷の話は知っていたけれど、あんな風に1コマずついねいに撮っているのもすごいと思いました。(小6・女)

・あまり鳥に興味ありませんでしたが、様々な種の鳥が平塚にいたことがわかり、日常でも注意して見てみようと思いました。すばらしい展示でした。常設してもよいと思います。展示タイトル、ポスターデザインがすばらしいです。(40代)

・こどもがうまれてそとにあるいて自然に目をむけるきかいができました。ココでとりについてハトかな??でおわっていたのが、この鳥は〇〇だよ。といえるとお互いにしげきがあり良いと思いました。(30代)

・バンがおもしろいくちバシ。(幼児)

・タイトル通り「野鳥愛」を感じる展示でした。会場にいらした岡根さんのお話を伺えたのも楽しさ倍増でした。(50代・男)

・これだけ数のそろったハクセイははじめてです。直接岡根氏とも話ができて、これからも鳥への愛を感じながら見守り続けて行きたいと思います。(50代・女)

・横浜ゴムの”千年の森”の植樹に参加してりっぱな森になり、立野町の我家にも鳥たちが舞いおりてきます。蝶や赤トンボ、虫の音にやすらぎを感じていて鳥達の名前がわからず来館しました。ありがとうございます。(70代)

・写真家の方のコメントが面白いのが多かった。営巣の写真を撮らないように、という他のバード写真愛好者への提案?意見もよいと思います。(60代・男)

・鳥の生態や携帯のことについてよく分かる展示だった。トウネンの写真が可愛いらしく、また、フクロウの写真がオオタカの写真の下に撮った際のエピソードが書かれており、その瞬間がよく分かるものだった。(20代・女)

・たくさんの種類があり、クイズもあったので、何度も足を運びました。小分けになってクイズがでていたのと、答えがかくされてはられてたので、良かったです。またやってほしいです。(40代)

・岡根さんにたくさんおしえていただき、とてもたのしめました。まさに「野鳥愛」にあふれる展示でした。チラシもカードのイラストもとてもすてき!

・よく川や道でみかける鳥が何なのかずっと気になっていたのを知ることができてよかったです。ありがとうございます。(20代・女)

・鳥さがシートが本当に難しかったです…でも何度も展示を見るきっかけとなったので楽しくまわれました。(30代)

・野鳥、、むっずいな～。(小4)

・はく製一写真ではわからない様子がわかった。一回り小さくなるのですか?写真一大きいあざやかなものは図鑑より色々な情報が伝わります。(60代)

・サンコウチョウのおがものすごく長かった。(小2・男)

・通勤中に川や田んぼにいるサギを見るのが好きです。平塚には色々な鳥がいるのもなんとなく知っていたが、こうしてまとめて展示していただいて、改めて自然の多い所に住んでるなと思いました。並べられたはくせいは壮観で、「カモだ」「スズメかな」位の認識だった鳥が、全然ちがったり、細かく分類されたり、とても見ごたえがあり、面白かったです?見に来て本当に良かったです。(20代・女)

●情報発信（ホームページと YouTube・SNS）

表1 平塚市博物館ホームページ訪問数

年度	訪問数												総訪問数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2017	25,341	28,945	26,819	30,766	34,800	28,219	23,259	19,940	18,065	21,994	18,155	18,921	295,223
2018	20,475	25,132	29,789	32,176	33,089	21,153	23,105	18,716	17,535	20,503	17,944	22,199	281,816
2019	25,341	28,945	20,781	25,587	30,663	21,877	22,078	27,657	22,303	23,149	20,375	22,326	291,082
2020	20,780	24,312	21,356	26,149	30,037	28,219	23,885	20,902	22,593	23,041	25,531	24,918	291,723
2021	25,188	32,612	30,572	32,833	28,436	27,063	27,293	27,166	25,422	13,412	20,205	22,316	323,563
2022	23,427	28,031	27,578	29,295	35,968	31,919	31,217						207,435

※（斜線はデータ消失のため、該当データを除く 2015～20 の平均値で補完） 4月末現在

表2 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube 視聴回数

年度	視聴数（2018年3月まで 66,450）												総視聴数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2018	12,521	834	603	2,159	3,615	555	1,615	3,047	1,527	2,176	615	830	30,097
2019	669	1,584	442	4,008	1,258	457	525	2,819	1,594	1,077	695	1,533	16,661
2020	3,039	6,693	13,272	5,959	3,710	2,110	1,656	1,608	1,549	1,029	1,071	2,756	44,452
2021	3,338	3,637	3,309	5,151	4,105	3,914	3,026	2,622	2,583	7,783	8,596	12,156	60,220
2022	9,288	9,957	9,449	7,976	9,550	7,259	6,122						59,601

開始（2011/1/9）から 2022 年 10 月末までの累計 277,481

表3 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube チャンネル登録者数

年度	チャンネル登録者数（2018年3月まで 49）												総数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2018	6	1	4	3	4	0	1	8	2	3	1	3	36
2019	2	2	1	-1	0	2	-1	3	1	1	2	3	15
2020	54	102	76	21	17	5	6	9	3	3	8	38	342
2021	53	39	40	78	68	34	22	16	15	106	112	248	831
2022	105	97	79	60	75	38	45						499

開始（2011/1/9）から 2022 年 10 月末までの累計 1,772 人

表4 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube の毎月の視聴回数と累計チャンネル登録者数

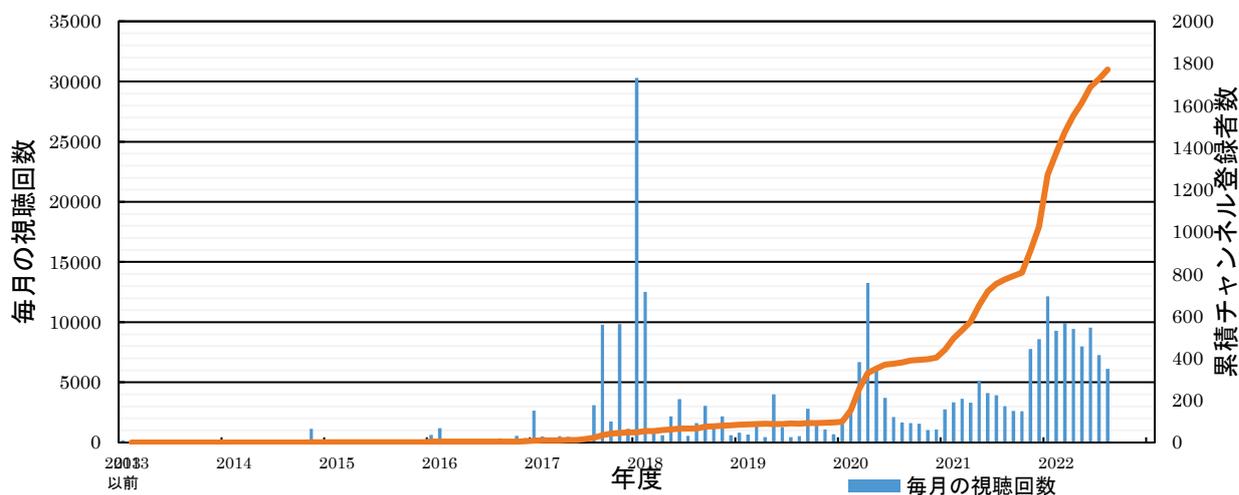
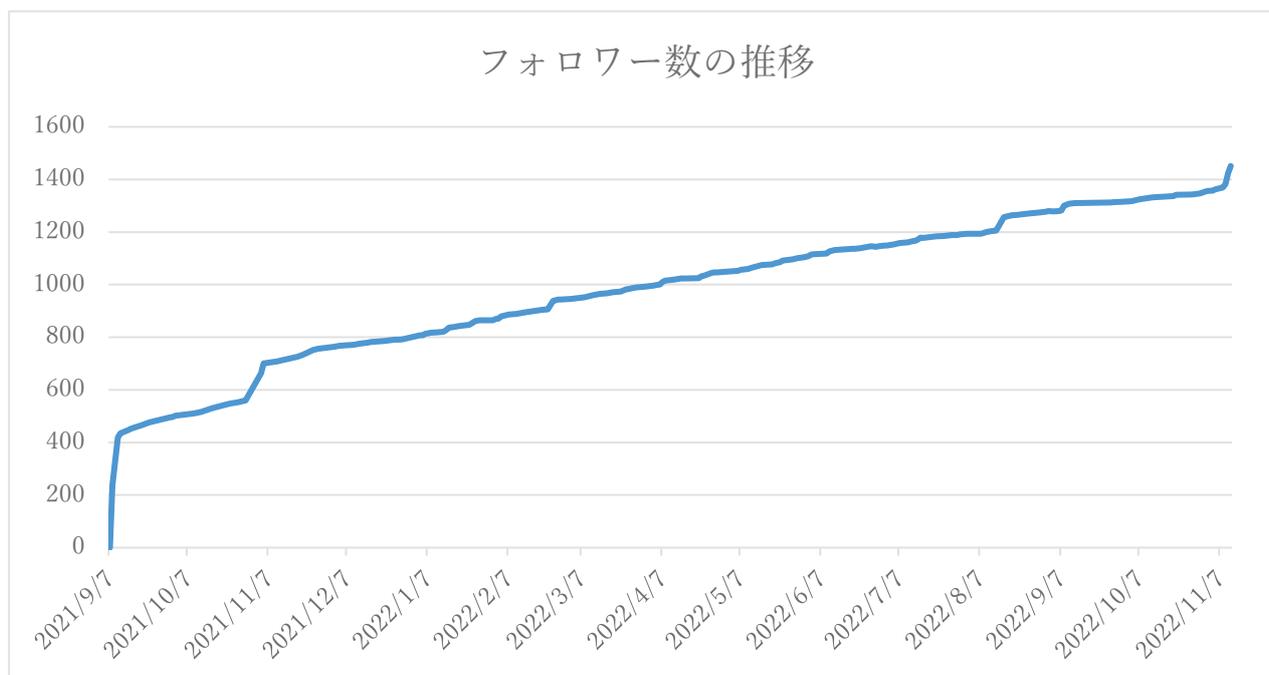


表5 「おうちで楽しむはくぶつかん」(HIRAHAKU) Youtube 視聴回数ランキング (11/11 現在)

タイトル	公開日	再生回数	前回 順位
1 おうちでプラネタリウム (藤井大地 学芸員)	2020/4/18	12,674	1
2 鎌倉殿と平塚の七人 第1回_真田与一義忠	2022/1/23	6,898	2
3 おうちでプラネタリウム (塚田健 学芸員)	2020/4/18	4,500	3
4 鎌倉殿と平塚の七人 第2回_岡崎四郎義実	2022/2/20	4,302	4
5 5分でわかる平塚学入門「中原御殿」	2021/3/26	4,077	5
6 2019年5月25日夜に平塚から見たスターリンク衛星	2019/5/25	2,574	6
7 5分でわかる平塚学入門「伊勢原台地と伊勢原断層」	2022/1/14	2,527	9
8 5分でわかる平塚学入門「平塚はプレートの境界だった」	2021/5/21	2,435	8
9 5分でわかる平塚学入門「どっこい神輿と甚句」	2022/7/29	2,161	-
10 鎌倉殿と平塚の七人 第3回_土屋三郎宗遠	2022/3/20	2,143	10

表7 平塚市博物館 (HIRAHAKU\_) Twitter

2021/9/7 新規開設。11/11 までに 850 ツイート発信。フォロワー数 1,451 人。



#### 平塚市 (公式) LINE

2021/7/26 から配信開始。概ね週1回投稿。10/末までに90回投稿。登録者数 20,062 人 (13,850 人)

展 示

夏期特別展では、多数の剥製や写真・バードカービング作品を出展、市内に多様な野鳥が生息することを知らせてもらうとともに、平塚の自然への関心を深めることを目的に開催しました。秋期特別展では、日本各地に伝えられてきた“日本版星座”を広く紹介するとともに、それらの元となった民具の実物を展示し、日本人が星空をどのように捉えてきたのかを紹介しています。春期特別展では、地質分野の成果を分かりやすく紹介します。「第22回博物館文化祭」では、博物館で活動するワーキンググループの活動成果を展示発表します。

1階寄贈品コーナーでは概ね月替わりで各分野のテーマ展を開催します。2階情報コーナーでは特別展のダイジェスト展などを開催します。

特別展	春期特別展 「掘り起こされた平塚Ⅳ」	2022 3月 19日 ~ 5月 8日
	夏期特別展 「野鳥愛」	2022 7月 21日 ~ 9月 4日
	秋期特別展 「星になった民具たち」	2022 10月 22日 ~ 1月 9日
	第22回博物館文化祭 -ワーキンググループ展示・活動報告会・実演-	2023 2月 4日 ~ 2月 19日
	春期特別展 「ゼロからの湘南地学入門」	2023 3月 18日 ~ 5月 7日

寄贈品 コーナー	民俗 「ハレの日の装い」	2022 2月 26日 ~ 4月 3日
	自然系 「新着資料展 -自然分野-	4月 7日 ~ 5月 8日
	人文系 「新着資料展 -人文分野-	5月 12日 ~ 6月 5日
	歴史 「空襲展」	6月 21日 ~ 7月 31日
	考古 「続・鎌倉武士の足跡をたどる」	8月 4日 ~ 9月 7日
	全体 博物館実習生制作展示	9月 16日 ~ 9月 28日
	地質 「ゼロからの湘南地学入門」	10月 1日 ~ 10月 30日
	生物 「みんなで調べよう「平塚のかたつむり」結果報告！」	11月 3日 ~ 1月 9日
	天文 「カレンダーが変わる！？明治改暦150年」	1月 13日 ~ 2月 26日
	民俗 民俗	3月 2日 ~ 4月 2日

情報 コーナー	天文 「星座”誕生”100年」	2022 3月 31日 ~ 5月 11日
	考古 ポスト特別展『掘り起こされ「ていた」平塚』	5月 14日 ~ 6月 5日
	総合 「平塚市制90周年」展	6月 21日 ~ 12月 11日
	生物 「生きもの調査から見る生物多様性」	2023 1月 14日 ~ 5月 14日

プラネタリウム

プラネタリウムの一般投影は、毎週土・日曜日と、春・夏・冬休み期間中の水・木曜日に行います。年度当初は1日2回、32名の定員で実施しましたが、7月以降は定員を50名に変更しています。特別投影は「星空散歩」を毎月1回実施する他、雑貨団による演劇「シアトリカルプラネタリウム」も実施しました。また、幼児団体投影・学習投影は市内の園・学校に限定し、予約制で水・木・金曜日午前中に実施しています。

一般投影	一般向け投影 鎌倉武士が見た星空 ~吾妻鏡に残された天の記録	2022 2月 5日 ~ 4月 3日
	一般向け投影 ハッブルからジェームズウェーブへ ~宇宙望遠鏡新時代~	4月 9日 ~ 6月 5日
	一般向け投影 フリートーク・プラネタリウム	6月 18日 ~ 7月 17日
	一般向け投影 星空でバードウォッチング!? ~鳥の星座をめぐる~	7月 23日 ~ 8月 29日
	一般向け投影 月がとっても赤いから ~迫る皆既月食~	9月 3日 ~ 10月 30日
	一般向け投影 日本の星を見上げて ~星の和名の春夏秋冬~	11月 5日 ~ 12月 28日
	一般向け投影 2023年の天文現象	2023 1月 4日 ~ 1月 29日
	一般向け投影 母なる星・太陽	2月 4日 ~ 4月 2日
	幼児向け投影 ほしみるおじさん	4月 9日 ~ 毎土11時
	特別投影	星空散歩 (月初の土または日曜日))
流れ星を数えよう		2022 8月 6日・12月 10日
星空の古代史5「鎌倉武士と天変」		2022 5月 29日
星空の古代史6「古墳に描かれた星空」		2023 1月 14日

コンサート	シアトリカル・プラネタリウム（雑貨団、2回）	8月と	3月を予定
	プラネタリウム・コンサート（2回程度）	未定	

## 各種普及行事

当面の間、すべての行事を事前申込制で実施します。

申込制 行事	考古	昔の方法で火を起こそう	2022 7月 31日 日	
		考古学入門講座（2回）	2022 10月23日と11月20日の日曜	
	歴史	郷土史入門講座（3回）	2023 1月22日・2月19日・3月19日の日曜	
		民俗	石仏めぐり	2022 10月 22日 土
			体験学習「お飾りをつくろう」	2022 12月 3日 土
	ろばたばなし(当日整理券)		2022 毎月1回日曜日	
	地質	自然観察入門講座「相模川流域ジオツアー入門」（3回）	2022 4月23日・11月27日・1月28日の土日曜	
		体験学習「メガロンの歯化石のレプリカをつくろう」（3回）	2022 5月21日・6月26日・7月16日・8月25日	
	生物	自然教室（6回）	2022 4月 16日 ~ 3月 11日	
		きのこの観察会	2022 10月 20日	
	天文	星を見る会（10回）	2022 4月 22日 ~ 3月 3日	
		天文学入門講座「星座入門」（4回）	2022 5月21日・6月26日・7月16日・8月13日	
		体験学習「望遠鏡を作って月食を観察しよう」（2回）	2022 8月 4日・ 8月 5日	
		体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」（4回:当日整理券）	2022 7月 29日	
		体験学習「星座早見盤を作ろう」（3回）	2022 4月 23日 ~ 8月 18日	
		体験学習「流星群の投影機を作ろう」「光る星座早見盤を作ろう」	2022 9月 10日 土	
	総合	最新天文学講座（3回程度）	2022 4月9日、8月27日、他	
		博物館ぶたいうらツアー&プラネタリウムこどもスペシャル	2022 4月 29日 金	
	会員制 行事	考古	平塚の古代を学ぶ会	毎月1回日曜日
			古代生活実験室	毎月1回木曜日
東国史跡踏査団			毎月1回土曜日	
歴史		古文書講読会	毎週金曜日	
		裏打ちの会	毎月1回水曜日	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	毎月1回土曜日	
		地域史研究ゼミ	毎月1回土曜日	
民俗		石仏を調べる会	毎月第二第四木曜日	
		民俗探訪会	毎月第三水曜日	
		祭りばやし研究会	毎月1回土曜日	
		聞き書きの会	毎月第二火曜日	
地質		地球科学野外ゼミ	毎月1回_土or日曜日	
生物		生き物ズームプロジェクト	毎月1回日曜日	
天文		天体観察会	毎月1~2回土・日曜日	
総合		展示解説ボランティアの会	毎月1・3木曜日	

## その他の全館的事業

館内のくん蒸・消毒に伴う休館	2022 6月 7日 ~ 6月 19日
設備改修および年末年始休館	2022 12月 13日 ~ 1月 3日
博物館実習	2022 9月 7日 ~ 9月 15日

\*新型コロナウイルスの感染状況等により展示や行事の内容・日時が断りなく変更される場合がありますので、最新の「博物館ホームページ」「広報ひらつか」等でご確認ください。

## これからの平塚市博物館の「あり方」に関するアンケート調査

平塚市博物館は昭和51年に開館し、今年47年目を迎えました。これまでに延べ320万人のお客様をお迎えして参りました。このたび、平塚市博物館では「これからの平塚市博物館の『あり方』」に関するアンケートを実施することいたしました。このアンケートは、平塚市にお住まいの皆様に、展示や普及・活用、収集や保管、調査・研究などの活動について、皆様や将来の世代にとって平塚市博物館が担うべき事業や要望・課題を把握し、今後の運営に反映させるための基礎資料とするために行うものです。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力ください。お願い申し上げます。

令和4年11月

「ご記入にあたってのお願い」

ご本人が、ご記入やご入力が難しい場合は、ご家族などに代筆いただいても構いません。

インターネットで回答いただいた場合は、本調査票の返送は不要です。

○調査対象：令和4年11月1日現在で住民基本台帳に登録されている10歳以上の方から

無作為に抽出した1,000人の方を対象としています。

○回答方法：調査票に必要な事項をご記入ください。（回答に住所・氏名の記入は不要です）

○提出方法：郵送かインターネットのいずれかにてご回答ください。

(1) 郵送での回答

同封した返信用封筒に調査票を入れて令和4年12月20日（火）までに郵便

ポストへ<sup>とうかん</sup>投函してください。<sup>きって は ひつよう</sup>(切手を貼る必要はありません)

## (2) インターネットでの<sup>かいとう</sup>回答

下の「インターネットでの<sup>かいとう</sup>回答方法」を<sup>さんこう</sup>参考にして<sup>かいとう</sup>回答用フォームにアクセスし、

令和4年12月20日(木)までに<sup>かいとう</sup>回答してください。

### 《インターネットでの回答方法》

平塚市の電子申請システムの回答用フォームにアクセスする。

パソコンの場合	スマートフォン・タブレットの場合
検索サイトで 電子申請 平塚 を 検索、 【e-kanagawa 電子申請】手続き申込 をクリック  または、次の URL <a href="https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142034-&lt;br/&gt;u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=42330">https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142034- u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=42330</a>	この QR コード読み取ってください。 
表示される手続き一覧から 【これからの平塚市博物館の「あり方」に関 するアンケート調査】 を選択すると、アンケートの回答フォー ムが表示されます。	回答フォームが表示されます。 

○調査結果：後日、博物館のウェブサイトに調査結果の概要を掲載いたします。

○その他：(1) 調査結果は調査目的以外に使用することはありません。

(2) 提出された意見に対して、個別の回答はいたしません。

(3) 提出された意見は、個人情報を除き公開する場合があります。

○問合せ先：平塚市博物館 学芸担当 電話 0463-33-5111 (代表)

メールアドレス [muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp](mailto:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp)



